テーマ別名刺交換会　記録シート

テーマ	住まいの確保が難しい人の支援を考える				
リーダー	澤（さわらび福祉会　「甲賀・湖南ひきこもり支援 - 奏 - 」）				
進行補助	奥村（県社協）	記録	和泉（県社協）	参加者数	１１名

１．課題提起されたこと、グループでの意見交換の視点（箇条書き）

・実際の住まいの課題としては、お金の問題よりも病状が大丈夫なのか、ご近所とトラブルを起こさないか…といった、暮らしの面から保証人がつきにくい（家族からも協力が得られない等）といった問題が多い。

・家や住まいの確保とともに、どのようなサポートをつけて支援していくのか。

・不動産会社や住宅を提供される側も不安を抱えており、安心を確保していくためにも、個々のつながりに頼るだけでなく、話し合いを進めて関係性を広げていくことが必要。

２．参加者の気づき、課題と感じていること（箇条書き）

・親との縁も切れていて、保証人が見つからない。保証人協会をお願いするにしても、お金がかかるので、利用できないケースが少なくない。

・身体障害者の場合、バリアフリーが１人暮らしをするうえでの課題になる。

・社会からの排除で、住まいの確保ができない面がある。

・不動産屋の不安の声が大きい。家や住まいを確保する制度やシステムがあっても、なかなか知られていない現状がある。

・部屋があれば良いわけでなく、貸してほしい人と大家さんとをどのようにマッチングしていくかが大事。

・不動産屋も、もっとフォローする仕組みがあれば、安心して住まいを提供できる。

・支援者が知らないことは当事者も当然知らないので、地域での取り組みや工夫を、全県的に情報交換をしていき、もっと広めていくことが大切。このテーマについて、情報を集約していく官民そして民民協働の仕組みが必要。

３．現場の課題に対応して、だれと、何を創造実践していきたいか（箇条書き）

・住居確保の成功事例をもっと関係者で共有していきたい。

・保証人がいない人の入居を大家さんに受け入れてもらえるようなネットワークづくりを、『民民官』で連携しておこなう必要がある。

※『民民官』…民間（企業）・民間（福祉）・行政

・県内の関係者でネットワークを築くことにより、個別支援への活用と業界団体または住宅行政への提言をしていきたい。